

安全データシート

版番号 8.3
改訂日 2025/03/05
印刷日 2025/03/06

1. 化学品及び会社情報

1.1 製品識別名

製品名 : Potassium iodide

カタログ番号 : 24-4870
ブランド : Katayama
CAS番号 : 7681-11-0

1.2 他の特定手段

データなし

1.3 推奨用途及び使用上の制限

特定用途 : 研究開発での使用のみ。薬事、家庭用その他の用途には用いない。

1.4 安全データシート作成者の詳細

会社名 : メルク株式会社/シグマ アルドリッチ ジャパン合同会社
東京都港区麻布台 1-3-1 麻布台ヒルズ森 JP タワー

Merck Ltd./Sigma-Aldrich Japan G. K.
Azabudai Hills Mori JP Tower
1-3-1 AZABUDAI, MINATO-KU, TOKYO
JAPAN

電話番号 : +81 (3) 4531-1145

1.5 緊急連絡電話番号

緊急連絡先TEL: : +81 (0)3 4520 9637 (CHEMTREC)

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

特定標的臓器毒性（反復ばく露）（経口） : 区分 1（甲状腺）

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

:



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H372 反復してあるいは長期にわたり飲み込んだ場合、又は反復暴露による臓器 (甲状腺) の障害。

注意書き

:

安全対策:

P260 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置:

P314 気分が悪いときは、医師の診察 / 手当てを受けること。

廃棄:

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 化学物質

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/ 安衛法 (ISHL) 番号
ヨウ化カリウム	7681-11-0	>= 90 - <= 100	1-439

4. 応急措置

一般的アドバイス

: この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合

: 吸入後は新鮮な空気を吸うこと。ただちに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合

: 皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

眼に入った場合

: 眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。

コンタクトレンズをはずす。

飲み込んだ場合 : 飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯)
医師に相談する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を
参照)および/または項目11に記載されている

応急措置をする者の保護 : 個人保護については項目8を参照する。

医師に対する特別な注意事項 : データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

使ってはならない消火剤 : 本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

特有の危険有害性 : 不可燃性である。

周辺の火災で有害な蒸気を放出することがある。

有害燃焼副産物 : ヨウ化水素

カリウム酸化物

特有の消火方法 : ガス/蒸気/ミストを水スプレージェットで抑える(除去する)。
消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 救急隊員以外への助言:
いかなる場合も、ほこりを生じさせたり吸い込んだりしないようにすること。
触れないようにすること。
十分な換気を確保する。

危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと

緊急事態の対応者へのアドバイス：

個人保護については項目 8 を参照する。

環境に対する注意事項 : 物質が排水施設に流れ込まないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。
物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10 参照)
乾燥剤で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。ほこりを生じないようにすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

注意事項は項目 2.2 を参照。

衛生対策 : 汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

保管

保管状態に関する追加情報 : 密閉のこと。
乾燥。
換気のよい場所で保管する。
鍵をかけておくか、資格のあるまたは認可された人のみが入りできる場所に入れておく。

保管クラス : 6.1D, 不燃性、急性毒性カテゴリ 3 / 毒性危険物または慢性効果を引き起こす危険物

推奨された保管温度 : 推奨された保管温度、製品のラベルを参照してください。

保管安定性に関する詳しい情報 : 空気、光および湿気に反応する。
不活性ガス下に貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理パラメータ / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
ヨウ化カリウム	7681-11-0	TWA (吸入濃度)	0.01 mg/m ³ (ヨウ素)	ACGIH

設備対策 : データなし

保護具

呼吸用保護具 : ほこりが生じた際に必要。

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387 および使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

推奨されるフィルターのタイプ : フィルタータイプ P2

請負者は、呼吸用保護具の保全、清掃、検査をメーカーの指示に従って実施するようにしなければならない。これらの方策を適正に記録化することが必要である。

手の保護具

材質 : ニトリルゴム
破過時間 : 480 min
手袋の厚さ : 0.11 mm
防護指数 : フルコンタクト
製造者 : KCL 741 Dermatril® L

材質 : ニトリルゴム
破過時間 : 480 min
手袋の厚さ : 0.11 mm
防護指数 : 飛沫への接触
製造者 : KCL 741 Dermatril® L

備考 : 本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ適用される。溶解、他の物質との混合、および EN 16523-1 に記載の逸脱条件での使用については、CE 認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと (例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet: www.kcl.de)

眼の保護具 : NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。
保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 結晶

色 : 白色

Katayama- 24-4870

ページ 5 の 12

The life science business of Merck operates as MilliporeSigma in the US and Canada

MERCK

臭い	: 無臭
臭いのしきい(閾)値	: 非該当
融点	: 680 °C
沸点 / 沸騰範囲	: 1,330 °C
可燃性（固体、気体）	: この製品は GHS 分類の可燃性ではない。
可燃性（液体）	: データなし
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	: データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	: データなし
引火点	: データなし
自己発火性	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 約 6.9 (20 °C) 含有量: 50 grm/l
蒸発速度	: データなし
燃焼速度	: データなし
自然発火温度	: データなし
粘度(粘性率)	: データなし
動粘度（動粘性率）	: データなし
溶解度	
水溶性	: 約 1,430 grm/l 完全に可溶 (25 °C)
溶媒に対する溶解性	: (20 °C) 可溶 溶剤: アルコール
	: (20 °C) 溶剤: アセトン
	: (20 °C) 溶剤: エーテル
n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	: 無機の物質には該当しない
蒸気圧	: 約 1 hPa (745 °C)
密度及び / 又は相対密度	
比重	: データなし
密度	: 3.13 gPcm3
相対ガス密度	: データなし
フロータイム（流下時間）	: データなし
爆発特性	: データなし
酸化特性	: データなし

分子量 : 166.00 g/mol

10. 安定性及び反応性

反応性 : データなし

化学的安定性 : 標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

危険有害反応可能性 : 空気および湿気に暴露されると分解する可能性がある。

避けるべき条件 : スズ / スズ酸化物
情報なし

混触危険物質 : データなし

危険有害な分解生成物 : 火災の場合:項目 5 を参照

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

急性毒性

経口: データなし

吸入: データなし

LD50 経皮 - ラット - オスおよびメス - > 2,000 mg/kg
(OECD 試験ガイドライン 402)

皮膚腐食性 / 刺激性

皮膚 - ウサギ

結果: 皮膚刺激なし - 4 h

(OECD 試験ガイドライン 404)

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

パッチテスト: - 試験管研究

結果: 陰性

備考: (ECHA)

長時間または反復の暴露は、過敏な人に対してアレルギー反応を起こす可能性がある。

生殖細胞変異原性

試験タイプ: in vitro哺乳動物細胞遺伝子変異試験

テストシステム: マウスリンパ腫細胞

代謝活性化: 代謝活性化なし

方法: OECD 試験ガイドライン 476

結果: 陰性

発がん性

データなし

生殖毒性

胎児への悪影響のおそれ。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

- 甲状腺

誤えん有害性

データなし

11.2 追加情報

RTECS: TT2975000

ヨウ化物への長時間の暴露により、感受性に個人差のみられるヨウ素中毒を引き起こす可能性がある。暴露の症状は、皮疹、鼻水、頭痛および粘膜の炎症である。重症例では、皮膚の面皰、腫、蕁麻疹、水疱、黒色斑および青色斑がみられている。ヨウ化物は胎盤を通過し容易に拡散する。続発性の呼吸困難から甲状腺腫まで新生児死亡が報告されている。ヨウ化物は、通常短期間の薬物性発熱をおこすことが知られている。

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

毒性量の吸収後:

血圧降下

麻痺症状

興奮状態

嘔吐

ヨウ化物に概ね該当: 影響を受けやすい人で感作のおそれ。

その他の危険な特徴を除外してはならない。

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

肝臓 - 便秘 - ヒトの証拠に基づく

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

ヨウ化カリウム:

魚毒性

: LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 3,780 mg/l

エンドポイント: 死亡率

曝露時間: 96 h

試験タイプ: 止水式試験
分析モニタリング: 該当
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 7.5 mg/l
に対する毒性
エンドポイント: 固定化
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 202

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 長期 (慢性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

残留性・分解性

成分:

ヨウ化カリウム:

生分解性 : 備考: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

生体蓄積性

成分:

ヨウ化カリウム:

n-オクタノール / 水分配係数 : 備考: 無機の物質には該当しない
(log 値)

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name)	: 非該当
国連分類 (Class)	: 非該当
副次危険性 (Subsidiary risk)	: 非該当
容器等級 (Packing group)	: 非該当
ラベル (Labels)	: 非該当
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 非該当
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 非該当

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号	: 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name)	: 非該当
国連分類 (Class)	: 非該当
副次危険性	: 非該当
容器等級	: 非該当
ラベル	: 非該当
EmS コード	: 非該当
海洋汚染物質(該当・非該当)	: 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

備考 : 国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物に該当しない。

労働安全衛生法

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（則 34 条の 2 別表 2）

化学名	含有量 (%)	備考
	>=90 - <=100	

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（則 30 別表 2）

化学名	備考

皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

非該当

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

詳細情報

その他の情報

： 本 SDS は自社 SDS データベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本 SDS の記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質

の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。
Copyright 2020 Sigma-Aldrich Co. LLC. により、社内限定使用
以外の本書の複写を禁じています。

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度; LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n.o.s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

弊社ブランド移行期のため、この文書のヘッダーやフッターのブランド名はご購入製品のブランド名と合わない場合があります。しかし、文書中の製品に関する情報は変わらず、ご注文の製品に合致します。詳細は、こちらまでお問合せください。mlsbranding@sial.com.

JP / JA